

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	防災環境整備推進プロジェクト		実施期間	平成30年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町では、近年多発する豪雨の発生によって町の至る所で被害が発生し、災害に強いまちづくりの必要性が高まっている。避難場所となる公共施設の改修に加え役場や地域住民が災害に対応するための基本的な計画や情報をまとめる必要がある。さらに、災害時の直接的な被害だけでなく、そこから生じる建造物の倒壊等二次被害についても対策が急がれている。</p> <p>また、京都府景観資産登録第一号に認定された「茶畑景観」や豊かな景観を保護するため、町自ら率先してゴミの焼却処理やゴミの減量化に取り組む、住民の環境保全意識に対する意識向上を図る必要がある。</p> <p>加えて、道路が狭く見通しが悪い場所や不審者の発見情報が発生する等防犯上の改善が強く望まれており、その改善には地域住民の声を確実に反映させる必要がある。</p> <p>以上のことから、災害、環境、防犯の課題に取り組むことにより、誰もが安心して住むことができる、安全かつ快適なまちづくりを進める。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・近年増加している災害から住民の暮らしを守るため、避難場所である公民館の改修を補助する。 ・町内の防災設備の整備を推進するとともに、必要な備品を導入し町内各地に配備することにより、地域住民主体での防災機能を強化する ・機動的かつ効率的な災害対応の基礎となる地域防災計画の策定を行う。 ・地震や豪雨による一次災害に加えて、地震の揺れによる建造物の倒壊等二次災害への対策を行う。 ・豊かな自然と住環境を守るため、広域林道の除草、不法投棄防止やゴミ減量化などの環境美化活動を促進する。 ・住民の憩いの場である運動公園一帯の美化に取り組む。 ・防犯上緊急性の高い場所の防犯灯整備を補助するとともに、監視による不審者への抑止力を高めるため防犯カメラを新たに設置する。 ・情報伝達手段の整備により、必要な情報を迅速かつ確実に地域住民に伝達する。 							
	総事業費（千円）	34,229	本年度事業費（千円）	34,229	交付金額（千円）	16,565		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	和東運動公園美化事業	交付対象事業	和東運動公園一帯の美化事業を委託		広域避難所である和東運動公園の落葉の撤去等の整備を実施するとともに、積極的な住民利用を促した。			
	不法投棄等防止事業	交付対象事業	不法投棄を未然に防止するためパトロールの実施、清掃作業		産業廃棄物不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、パトロール及び清掃活動を実施し、快適な環境を創出した。			
	茶源郷行政情報配信システム活用促進事業	交付対象事業	光回線を活用し、町内の各家庭に行政情報等を発信		災害情報や行政情報等様々な情報を瞬時に住民に提供することができた			
	ブロック塀撤去推進事業	交付対象事業	町立の診療所前に存在するブロック塀の撤去		崩落の恐れがあったブロック塀の撤去により、住民の安全安心な生活環境の整備を行った			
	防災設備整備推進事業	交付対象事業	町内にある防火施設の整備とともに、防災備品を新調し各区に配置した		各区への防災備品の配置により、地域住民自身による自主防災の意識向上につながった			
	地域防災計画作成事業	交付対象事業	災害対応の基礎となる地域防災計画を作成する		最新のデータ等に基づき地域防災計画を策定し、今後の防災対応に活用していく			
	防災無線整備活用事業	交付対象事業	防災行政無線の整備と積極的な運営を行った		正確な災害情報を地域住民へ迅速に伝達することで、災害による被害を減らすとともに、安心安全な暮らしを確保した。			
住民協働事業	交通事故防止推進事業	交付対象事業	全公用車へドライブレコーダーを設置		ドライブレコーダーの設置による安全運転意識の向上につながり交通事故の抑制につながった			
	地域防犯環境整備推進事業	交付対象事業	町内にある防犯灯の改修や新設を補助		老朽化した防犯灯の取替や危険箇所への新設等を補助したことにより、防犯環境が向上し、安心安全な暮らしを確保した。			
住民が取り組む事業	ゴミ減量化推進事業	交付対象事業	一般廃棄物の内、リサイクル可能な資源ゴミ(古紙、古布等)に対して補助		各自治会、老人クラブ等の協力により資源ゴミをリサイクルした。回収量：151,061kg			
住民が取り組む事業	公民館改修支援事業	交付対象事業	公民館を改修を補助することにより、地域の避難施設としての機能向上を図り、崩落による事故の発生等二次災害を防ぐ		避難拠点としての能力向上を図り、災害発生時の住民の安心安全につながった			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：和束町

成果指標①	成果指標の目標数値	■ 災害時の早期避難者数 H29 35人 → H30 50人		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	35人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	防災無線や行政情報配信システム等を活用しながら、災害時の積極的な情報発信を行い災害による被害減に努める		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	■ 一般廃棄物の量 H29 1,387t → H30 1,100t		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	1,446 t	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	生活ゴミ等の増加が要因と考えられる。一層の分別を進めるとも積極的な啓発を行うことで一般廃棄物の絶対量の減少に務めたい		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	一般廃棄物の絶対量を減らす呼びかけと併せて、資源ごみとの分別を徹底するよう周知する。地域住民による防犯灯整備への補助等、地域住民自らによる地域防犯への意識が向上したと考えられる。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙回収に住民全体で取り組むことにより、環境美化・保全への意識を高めることができた。 ・防災行政無線による迅速な災害情報の伝達により、住民の防災意識の向上が図られた。 ・防犯灯整備に補助をしたことで、地域住民自らが老朽化の確認や危険箇所の把握を一層意識するようになり生活環境改善への意識向上を図られた。 				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ（古紙）を回収し循環型社会の形成に向けて取り組むことで、ゴミ処理施設の運転に係わる負担軽減とともに、環境保全の意識向上につながった。 				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。